

日本福祉心理学会第 19 回大会 スケジュール

会期 **2021 年 12 月 25 日（土）・26 日（日）**

開催方法 **オンライン開催**

主催校 **西九州大学・西九州大学短期大学部**

1 日目 12 月 25 日（土）

10:15～11:15	理事会
11:20～12:50	福祉心理士会 * 総会：福祉心理士有資格者のみ参加可 * 研修会：本大会ご参加の方、誰でも参加可
13:30～14:30	開会挨拶 記念講演
14:40～16:10	学会企画シンポジウム
16:20～17:50	学会大会・研修会企画委員会企画講演
17:50	翌日のご案内

2 日目 12 月 26 日（日）

9:00～10:00	特別企画
10:00～12:00	口頭発表（同時送信発表）
13:00～13:50	会務総会
14:00～15:30	実行委員会企画シンポジウム
15:40～17:40	自主シンポジウム
17:40	終了挨拶

大会参加者へのご案内

1. 会期

2021 年 12 月 25 日（土）・26 日（日）

2. 大会への参加方法

本大会のすべてのプログラムは、テレビ会議システム Zoom を使用しリアルタイムで開催いたします。

ただし、ポスター発表は、会期中専用サイト上に掲載することといたします。専用サイトの URL は、大会参加者にのみ、大会事務局よりメールにてお知らせいたします。ポスター発表に対するご意見・ご質問は、専用サイトに設置しておりますフォームからお送りください。事務局が収集し、大会終了後に発表者まで送付いたします。

Zoom は PC、スマートフォン、タブレットのいずれでも接続できます。専用アプリでの利用を推奨しますが、ブラウザでも接続可能です。最新のバージョンのアプリをご利用ください。Zoom を初めて利用される方は、事前に Zoom 公式サイト（<https://zoom.us/test>）にて接続テストを行ってください。

本大会で使用する Zoom の URL は、開催 3 日前までに事務局からメールにてお知らせいたします。ご自身が参加されるプログラムの時間に合わせて、URL から Zoom にアクセスしてください。

なお、本大会では、リアル会場は準備せず、原則すべての参加者にオンラインでご参加いただきます。大会参加に必要なインターネット環境は参加者各自でご準備いただき、通信費等の費用も参加者をご負担ください。

3. 大会参加時の留意事項

大会参加（Zoom へのアクセス）時には、下記の留意事項を守っていただきますようお願いいたします。

- ・ 発表者以外はマイクをミュート、カメラをオフにしてください。質疑応答等、発言が必要な際にのみマイクをオンにしてください。
- ・ 全ての発表の録画、画面のスクリーンショットは原則禁止とします。
- ・ 大会用 Zoom の URL は、大会参加者のみに送信いたします。参加者以外の方に知らせないようお願いいたします。
- ・ 公共の場所等で参加される場合には、プライバシーにご配慮いただき、他の方の音声・映像が入らないようご注意ください。

4. 大会関連行事のご案内

- 理事会

12月25日（土）10:15～11:15

対象：本学会理事のみなさま

- 福祉心理士会総会

12月25日（土）11:20～11:50

対象：福祉心理士有資格者のみなさま

- 福祉心理士会研修会

12月25日（土）11:50～12:50

テーマ「福祉心理士が貢献できること」

対象：本大会参加者のみなさま

- 会務総会

12月26日（日）13:00～13:50

対象：学会員のみなさま

5. 福祉心理士資格更新にかかわるポイント付与について

「福祉心理士」の有資格者は、大会に参加された場合、資格更新のためのポイントが付与されます。ポイント付与の詳細については、下記までお問い合わせください。

日本福祉心理士会・日本福祉心理学会資格認定委員会 〒319-1295 茨城県日立市大みか町6丁目11-1 茨城キリスト教大学 富樫研究室 日本福祉心理士会 会長 富樫ひとみ Email: ht-togashi@icc.ac.jp
--

6. 大会に関する連絡・問い合わせ先

ご不明なことがございましたら、下記までご連絡ください。

なお、大会期間中はメールの確認が遅れることが予測されますので、電話でのご連絡をお願いいたします。

日本福祉心理学会第19回大会実行委員会 事務局

Email: gk-janphs19@nisikyu-u.ac.jp

【電話対応可能時間】

大会1日目：10:00～18:00 大会2日目：9:00～18:00

発表者へのご案内

1. ポスター発表

- (1) ポスター発表は、会期中に専用サイト上に掲示する形式で実施します。滞在等は不要です。大会期間中の質疑応答は実施しませんが、発表へのご質問・ご意見はサイト上で収集し、後日事務局より筆頭発表者に送付いたします。
- (2) ポスターは複数枚スライドではなく、A4 縦長の 1 枚のスライドで作成し提出してください。ポスターの最上部には、発表題目・発表者全員の氏名・所属を明記してください。
- (3) ポスター発表は、①論文集への抄録掲載、②ポスターの提出の 2 つの要件を満たすことで公式発表として認められます。

2. 口頭発表

- (1) 口頭発表は、Zoom を活用し、発表者側操作による画面共有を用いた同時送信（生配信）での発表を予定しております。開催 10 分前になりましたら、大会用 Zoom の URL から入室してください。
- (2) 発表時間は、発表 15 分間、質疑応答 5 分間です。開始時間、終了時間を厳守していただきますようお願いいたします。
- (3) 口頭発表は、PC、スマートフォン、タブレットでの参加が可能ですが、回線不安定により視聴が困難になる可能性が想定されます。発表者は事前に回線速度をご確認いただき、通信が安定した環境で発表していただくようお願いいたします。回線の不安定等により視聴が困難な場合、ポスター発表（スライド掲示）に変更していただくことがあります。
- (4) 発表資料はその場で画面共有をしていただきますので、事務局への提出は不要です。資料配布をご希望の際は、発表者ご自身でご準備をお願いいたします。
- (5) 口頭発表は、①論文集への抄録掲載、②大会当日の発表の 2 つの要件を満たすことで公式発表として認められます。
- (6) 口頭発表につきましては、発表者に座長のご依頼をさせていただくことがあります。予めご連絡をさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

3. 各種シンポジウム

- (1) 開催 10 分前になりましたら、大会用 Zoom の URL から入室してください。
- (2) 発表資料はその場で画面共有をしていただきますので、事務局への提出は不要です。資料配布をご希望の場合は、発表者ご自身でご準備をお願いいたします。
- (3) 開始時間、終了時間を厳守していただきますようお願いいたします。時間中の運営は企画者に一任いたします。
- (4) その他、各種シンポジウムの発表形式は、口頭発表に準じます。

4. 留意事項

- (1) 人を対象とする事例研究・調査研究等の発表においては、倫理的配慮が果たしていることを必ず記載してください。
- (2) 口頭発表・各種シンポジウムの発表資料作成にあたっては、色覚特性を持つ参加者やロービジョンの参加者が視覚情報を支障なく受け取れるよう、文字の大きさや配色等に配慮していただくようお願いいたします。
- (3) いずれの形式の発表においても、責任発表者がやむを得ない事情により欠席する場合、事前に大会実行委員会の承認を得て、連名発表者が発表を代行することができます。事前の承認がない場合、公式発表として認められないことがありますのでご注意ください。代行や発表取消については、事前に大会事務局（gk-janphs19@nisikyu-u.ac.jp）までご連絡ください。

各種講演・シンポジウム一覧

記念講演 12月25日（土）13:30～14:30

「こころのつながりを確かなものにする福祉心理学～福祉心理学の
今、そしてこれからを展望する～」

講演者 大迫 秀樹 氏（福岡女学院大学）

学会企画シンポジウム 12月25日（土）14:40～16:10

「covid-19の感染拡大と福祉心理学－各領域からの実践，研究をも
とに福祉心理学の役割を考える」

企画・司会 井出 智博（日本福祉心理学会研究・研修推進委員会）

企画・司会 大原 天青（日本福祉心理学会研究・研修推進委員会）

話題提供 奥井 菜穂子（大阪樟蔭女子大学）

話題提供 倉光 晃子（西南学院大学）

話題提供 石井 涼子（被害者支援都民センター）

指定討論 網野 武博（日本福祉心理学会 前会長）

学会大会・研修会企画委員会企画講演 12月25日（土）16:20～17:50

「福祉心理学の基盤と福祉心理士の専門性－「福祉心理学」出版記
念－」

企画・司会 米川 和雄（学会大会・研修会企画委員会委員長）

挨拶 片岡 玲子（学会理事長）

講演1 中山 哲志（学会監事）

講演2 網野 武博（学会相談役）

講演3 富樫 ひとみ（福祉心理士会会長）

特別企画 12月26日（日）9:00～10:00

「福祉心理学と心理支援－福祉領域から求められるもの」

講演者 片岡 玲子氏（立正大学心理臨床センター顧問/品川区社会福祉協議会・
品川介護福祉専門学校校長）

実行委員会企画シンポジウム 12月26日（日）14:00～15:30

「大人になることの困難 ～自立援助ホーム入所児童に対する福祉
心理学的アプローチについて考える～」

企画・司会 大西 良（筑紫女学園大学）

話題提供 中嶋 亮太（自立援助ホーム LEAP）

自主シンポジウム 12月26日（日）15:40～17:40

「強度行動障害のある人を地域で支えるには？」

企画・司会 今本 繁（合同会社 ABC 研究所）

話題提供 新野 弘一良（特定非営利活動法人 FRONTIER
放課後等デイサービスきぼう）

話題提供 吉永 菜穂子（特定非営利活動法人それいゆ）

話題提供 水野 敦之（社会福祉法人宮崎県社会福祉事業団）

指定討論 倉光 晃子（西南学院大学人間科学部・社会福祉学科）

指定討論 野口 幸弘（社会福祉法人福岡障害者支援センター）

研究発表題目一覧

口頭発表 12月26日（日）10:00～12:00

- O-01 援助希求的態度を育成する授業実践
—福祉系高等学校における教科横断的な取組を通して—
○後藤 幸洋（北海道置戸高等学校）
- O-02 高齢者介護施設における生きがい支援の一例
—A 県特別養護老人ホームでの事例を通しての考察—
○片山 茂夫（立正大学）
- O-03 強度行動障害を軽減、改善するためのグループホーム実践のあり方
—幼児期から行動上の問題がみられた知的障害者の地域生活の実現へ向けて—
○本田 央（グループホーム なごみ）
羽賀 千春（グループホーム なごみ）
古屋 貴啓（グループホーム なごみ）
深見 萌子（グループホーム なごみ）
冨永 祐輔（グループホーム なごみ）
松尾 祐希（グループホーム なごみ）
松原 俊輝（グループホーム なごみ）
鳥井 咲（グループホーム なごみ）
野口 幸弘（社会福祉法人 福岡障害者支援センター）
- O-04 発達障害がある学生への支援
—個別相談及びスポーツ指導を通して—
○一山 幸子（西日本短期大学 社会福祉学科）
- O-05 ギャンブル依存症者の依存から回復に至るまでの過程
—複線径路・等至性モデル（TEM）を用いて—
○福田 みのり（山陽小野田市立山口東京理科大学）

ポスター発表 大会期間中専用サイト上にポスターを掲載

- P-01 社会福祉を学ぶ留学生が感じている学びの障壁について
—留学生への実態アンケートから—
○大久保 圭介
- P-02 宮城県と青森県の教育行財政の比較
—カウンセラー事業等予算の費用対効果算出の試み—
○小玉 幸助（宮城誠真短期大学 保育科）
- P-03 「過ぎたるは猶及ばざるが如し」は幸福にも当てはまるのか？
—限界効用逓減の法則と日本版主観的幸福感尺度との関連—
○緒方 康介（大阪大谷大学人間社会学部）
- P-04 高校科目「公共」と福祉心理教育
—『高等学校学習指導要領解説公民編』を資料として—
○藤原 亮一（田園調布学園大学）
- P-05 児童自立支援施設の心理支援システムに関する実態調査
—配置義務化から 10 年を迎えた心理療法担当職員の現状と課題—
○岩田 智和（和歌山県立仙溪学園）
- P-06 ある養育里親が養育里親になるまでのプロセス
—TEM を用いた養育里親になることをめぐる心理的变化についての理解—
○八木 孝憲（仙台白百合女子大学）
鬼塚 淳子（東京大学）
井出 智博（北海道大学大学院）
- P-07 社会的養護経験者に対する大学教育支援の基礎的研究 3
—児童養護施設への調査を中心に—
○村松 健司（東京都立大学）
坪井 裕子（名古屋市立大学）
波多江 洋介（白百合女子大学）
塩谷 隼平（東洋学園大学）
樋口 亜瑞佐（愛知教育大学）

- P-08 ASD 幼児のこだわり行動の改善と社会性の発達
○原 真知子（社会福祉法人筑紫会 児童発達支援事業どんぐり）
川原 有加（社会福祉法人筑紫会 児童発達支援事業どんぐり）
木下 七海（社会福祉法人筑紫会 児童発達支援事業どんぐり）
平野 奈那子（社会福祉法人筑紫会 児童発達支援事業どんぐり）
湯川 有希子
野口 幸弘（福岡障害者支援センター）
- P-09 自身に発達障害のある母親への子育て支援プログラムの実践に関する検討
○飯田 法子（大分大学福祉健康科学部）
佐藤 晋治（大分大学大学院教育学研究科）
- P-10 「福祉心理学」受講前後の社会的養護のイメージの変化
○益田 啓裕（追手門学院大学心理学部）
- P-11 我が国の伴走型支援の形成過程に関する一考察
—千葉県中核地域生活支援センター活動白書の調査結果分析を通じて—
○大部 令絵（日本女子大学）
- P-12 週刊誌の自殺報道に関する研究
—2020 年における週刊誌 6 誌の分析から—
○藤原 幸子（吉備国際大学）
- P-13 乳児院における小規模化・地域分散化、高機能化・多機能化に伴う早期からの連続性を持った心理的ケアに関する研究
○大迫 秀樹（福岡女学院大学 人間関係学部）
白澤 早苗（福岡女学院大学 人間関係学部）
- P-14 学校は虐待にどう対応するか
○杉山 雅宏（埼玉学園大学）
- P-15 コロナ禍における子どもの睡眠不調
—福岡県 A 市内の公立中学校での調査結果を中心に—
○大西 良（筑紫女学園大学）

- P-16 食育活動における保育学生の主体的な学びへの取り組み
○占部 尊士（西九州大学）

日本福祉心理学会第 19 回大会実行委員会

（五十音順 敬称略）

委員長	占部 尊士	西九州大学
委員	今津 尚子	九州女子大学
	大迫 秀樹	福岡女学院大学
	大西 良	筑紫女学園大学
	鬼塚 裕司	一般社団法人 我見る，ゆえに我あり
	倉光 晃子	西南学院大学
	清水 陽香	西九州大学短期大学部
	白澤 早苗	福岡女学院大学
	高元 宗一郎	西九州大学短期大学部
	中村 貴志	福岡教育大学
	野口 幸弘	社会福祉法人福岡障害者支援センター
	納戸 美佐子	筑紫女学園大学
	春原 淑雄	西九州大学短期大学部
	堀江 幸治	九州女子大学
	森田 康雅	麻生医療福祉専門学校福岡校